

各位

2020年12月30日

Spiber株式会社

**Brewed Protein™の米国での量産に向けた250億円の資金調達**  
—量産体制の拡充及びさらなる成長に向け、革新的スキームによる調達を実施—

この度、Spiber株式会社（取締役兼代表執行役 関山 和秀、以下「当社」）は、三菱UFJモルガン・スタンレー証券株式会社（取締役社長 荒木 三郎）をアレンジャーとして、「事業価値証券化（Value Securitization）」と呼ばれる革新的な資金調達手法（以下「本スキーム」）により、総額250億円を調達しました。本スキームは一般的なコーポレート・ローンとは異なり、当社の先進的な研究開発設備、及びタイ国における量産プラント等の有形資産に加え、当社の根源的資産かつ競争力の源泉である知的財産等の無形資産の価値を最大限活かし、大規模調達を実現するために設計されたものであり、当初貸付人兼クレジット投資家として、2020年12月28日付で株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 三毛 兼承）が参画しております。

幅広いクレジット投資家が参加可能な本スキームは、一般的な株式を通じた資金調達手法に加え、先進的な技術や知的財産に基づく卓越した研究開発や事業を推進するスタートアップの大規模調達における選択肢を拡げるとともに、日本におけるESG投資、インパクト投資を拡大・促進することに寄与するものと考えております。当社においては、今後も研究開発及び事業開発の飛躍的成長を推進、実現するため、本スキームを用いた資金調達を継続していく予定です。

なお、本スキームを通じて調達した資金は、米国の穀物プロセッサー大手、Archer-Daniels-Midland Company（会長兼最高経営責任者：Juan R. Luciano／本社：米国・イリノイ州シカゴ）と共同で推進する、Brewed Protein™の米国での量産体制構築、並びに新素材の研究開発等に充当して参ります。地球の生命・生態系の基幹素材であるタンパク質を産業的に使いこなすためのインフラを整備することを通して、持続可能な社会の実現、地球規模の課題解決に貢献できるよう、引き続き尽力して参ります。

※SpiberとADMとの契約詳細については2020年10月に公表したプレスリリースをご覧ください。：<https://www.spiber.jp/news/detail/id=464>

【本件に関する報道関係の方のお問い合わせ先】

広報担当：contact@spiber.jp



## Spiber

構造タンパク質素材「Brewed Protein™（ブリュード・プロテイン）™」を開発する、山形県鶴岡市に拠点を置くバイオベンチャー。

Brewed Protein は、植物由来の糖類を主原料に使用し、微生物による発酵(ブリューイング)プロセスにより製造され、用途に応じて多様な特長を付与することが可能です。そのため、アパレル分野や輸送機器分野など、様々な産業における脱石油・脱アニマルのニーズに対し大きな役割を果たせる可能性を秘めており、持続可能な社会の発展に資する次世代の基幹素材と目されています。現在タイにて、構造タンパク質の発酵生産において、世界最大規模の生産量を見込む量産プラントの建設を進めています(2021年内操業予定)。

Spiber website: [www.spiber.jp](http://www.spiber.jp)